

世界のカバン博物館

～東京藝術大学 美術学部 デザイン科1年生 45名による作品展～

“2013 モチハコブカタチ展”

エース「世界のカバン博物館」にて特別展示を実施

《開催期間：2013年11月18日（月）～12月26日（木）》



エース株式会社（代表取締役社長 森下 宏明）は、弊社東京店（東京・台東区）にございます「世界のカバン博物館」の8階企画展示ゾーンにおきまして、東京藝術大学美術学部デザイン科1年生が制作した作品を展示する「2013 モチハコブカタチ展」を2013年11月18日（月）から12月26日（木）まで、期間限定で実施することを発表致します。

2013 モチハコブカタチ展は、東京藝術大学美術学部デザイン科の1年生45名が「未来のカバン」をテーマに未来の生活を想定し、その場（仕事や旅行など）にふさわしい機能美を備えた“モチハコブカタチ”をデザインし、その作品をエースが運営する世界のカバン博物館で特別展示するものです。

昨年もモチハコブカタチ展を開催致しましたが、今回は、1. 身の回りのものから、握り形状などの問題点を発見し、解決案を造形表現するといった「にぎる」動作に特化 2. 今後日本はどのような社会になるかを調査し、そこで生活する上でふさわしいモチハコブカタチをデザインする、といった条件が新たに追加され、より具体的な表現課題が設定されました。

過去には2011年に、東京藝術大学と共同プロジェクト「エース株式会社デザイン展 モチハコブカタチ」を東京藝術大学大学美術館陳列館にて期間限定で実施致しました。このデザイン展ではエース商品のアーカイブや現在のスーツケース製造における最新技術をご覧頂けるブースを設置した他、東京藝術大学デザイン科3年生11名が同様にモチハコブカタチをテーマに作品展を開催いたしました。（この時の“モチハコブカタチ”は、広義に解釈可能でした）

「世界のカバン博物館」という場所を使用して学生たちの作品を展示し、多くの一般来館者に作品をご覧頂き、またエースから来館者の意見や感想を学生たちにお伝えすることで、**かれらのバッグデザイナーとしてのスキルアップ**や**更なるモチベーションの向上**に役立てて頂ければと考え、このような特別展示を継続して実施することとなりました。

東京藝術大学側のコメントとして「まだ美大に入学したばかりの生活経験のない若者たちが「未来のカバン」をどのようにイメージするのか。まずはその世界観を見届けたいと思う。経験のない者だけが許された街がなく、人目を気にしない「何これ」と言わせる不可解なカバンができることを密かに期待しています。」としています。

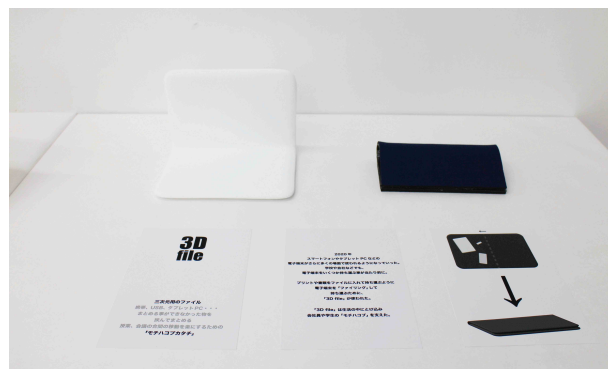
エースは、今後も様々な学校のと協同取り組みを実施することにより、将来有望な学生が今後世界で通用するデザイナーとして活躍して頂くため、またバッグ・袋物業界の更なる活性化に少しでも協力させて頂きたいと考えております。

～展示作品（一部）～



畝見 謙人 作

[TITLE] WRAPBAG



波部 真誉乙 作

[TITLE] 3D file

東京藝術大学 美術学部 デザイン科1年生による作品展

「2013 モチハコブカタチ展」概要

●企画展名：2013 モチハコブカタチ展

●企画内容：「未来のカバン」をテーマに未来の生活を想定し、その場（仕事や旅行、買い物など）にふさわしい機能美を備えた“モチハコブカタチ”をデザイン提案する。対象者、場、時間、目的を設定し、モチハコブものを明確にしてカタチや素材を具現化していく。展示ブースには作品の他、A2サイズのプレゼンテーションボード（タイトル、未来社会を400文字以内で表現したもの）を設置します。作者の作品に対する想いが最大限に伝わる空間です。

[課題補足]

- 未来年表を調べ、どのような社会になるかを理解した上でのぞむこと。
- カバンの歴史や既存のカバンのリサーチは徹底的に行うこと。
- 自己を主人公にはせず、他者のためのデザインを目指すこと。
- 作品は紙（紙のようなもの）をモデルとし、試行錯誤を繰り返すこと。
- フォルムと機能を際立たせるため色は白とし、全体の統一感を作ること。
- 素材については10×10cmの大きさと、理想的な素材イメージを別に表現すること。

●開催期間：2013年11月18日（月）～12月26日（木）

●開催時間：10時～16時30分（入館は16時まで）＊最終日は15時まで

●開催場所：エース東京店「世界のカバン博物館」8階 企画展示ゾーン

東京都台東区駒形1-8-10

○都営地下鉄浅草線「浅草」駅 A1出口 徒歩1分

○都営地下鉄大江戸線「蔵前」駅 徒歩7分

○東京メトロ銀座線「浅草」駅、「田原町」駅 徒歩10分

●入場料：無料

●休館日：日、祭日（臨時休館有り。10名以上の団体様に関しては、事前に連絡頂きますとスムーズに案内可）

●問合せ先：03-3847-5680

エース株式会社 会社概要

社名：エース株式会社 ACE CO., Ltd

創業：1940年1月1日

資本金：14億1000万円

代表者：代表取締役社長 森下宏明

従業員数：1210名（2012年12月21日現在・連結）

事業内容：旅行バッグ、スポーツバッグ、ビジネスバッグ、ファッションバッグ、スーツケース、旅行小物などの製造、卸

売上高：310億円（2012年度・連結）

URL：<http://www.ace.jp>

系列会社：エースラゲージ株式会社、エース物流サービス株式会社、エースサービス株式会社、株式会社エーストレーディング、株式会社グローバルプロジェクト、ゼロハリバートンInc ACE ITALIA S.R.L、SINGAPORE ACE PTE.LTD.、ACE HONG KONG LUGGAGE CO.,LTD.

東京本社：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-4-16 神宮前M-SQUARE

大阪本店：〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-2

世界約50カ国のカバンを展示する、大変珍しいカバン博物館 世界のカバン博物館

日本博物館協会会員・東京博物館協議会加盟



世界のカバン博物館（内観）



「世界のカバン博物館」は、エースの創業者・新川柳作がカバンを天職として生業を営ませて頂いた感謝の気持ちと社会の恩恵に対し、何かお返しができないものかという思いから、1975年に開館致しました。2010年には、創業70周年記念事業の一環としてリニューアルを実施。このリニューアルに伴い、現在では世界約50カ国から集めた550点余りの大変珍しいカバンや、著名人から寄贈頂いたバッグなどを展示しています。その他、大人は勿論のこと、お子様にも楽しんで頂けるようにカバンの素材を手にとることができる“体験ゾーン”や、古代から現代までのカバンの変遷やスーツケースの製造工程、カバンのパーツの名称やお手入れ方法など、カバンに対する知識を習得すると同時にカバンそのものに興味を持って頂けるよう豊富なコンテンツをご用意しています。また8階にはビューラウンジを設け、今話題の東京スカイツリーを一望することができます。

このように充実した内容を揃える同博物館は、現在、学校教育の一環として「課外活動」や「社会科見学」として多くの学生の皆さまにご利用頂き、また無料で公開していることから幅広い世代の皆さまに気軽にお越し頂くことで、年間1万人の来館者数を達成することができました。

これからも、浅草の人気観光スポットの一つとして話題を提供させて頂くとともに、台東区や浅草地区にございます皮革産業の更なる活性化に少しでもご協力させて頂ければと考えています。

エース「世界のカバン博物館」概要

- ・所在地 : エース株式会社東京店 7階、8階(1階受付)
東京都台東区駒形1-8-10
○都営地下鉄浅草線「浅草」駅 A1出口 徒歩1分
○都営地下鉄大江戸線「蔵前」駅 徒歩7分
○東京メトロ銀座線「浅草」駅、「田原町」駅 徒歩10分
- ・開館時間 : 10時～16時30分
- ・休館日 : 日・祭日
*臨時休館もございます。事前に電話にてお問い合わせください。
- ・入館料 : 無料
- ・問い合わせ : 03-3847-5680